



Next Seminar

ただいま 11 月以降のセミナーを
企画中です。



AI（人工知能）と哲学

今回は、先日ある AI（人工知能）の専門家と話をする中で、これからの時代、哲学が大切になるという言葉がとても印象的で、AI と哲学について考えてみたいと思います。

AI の急速な進化は、私たちの社会や生活に大きな変革をもたらしています。

自動運転車、スマートスピーカー、顔認証システムなど、AI 技術はすでに身近な存在となり、私たちの生活を豊かにしています。しかし、AI の発展は単に技術的な進歩にとどまらず、哲学的な問いをも提起しています。

AI がとても便利なゆえに、本来人間が一番の武器となる思考することをやめてしまうのではないかと思うこともあります。

もちろん、これだけスピードも早く、多様な情報の中で、たくさんのタスクや情報を処理していくために、AI を活用していくことは必須であることもまた事実だと思えます。

人間自身が AI をどう活用し、どう向き合うのか。AI が高度に進化し、人間のように振る舞うようになったとき、私たちはそれを「意識を持つ」と認めることができるのでしょうか？

意識とは何か、心とは何かという問いは、古来より哲学者が探求してきたテーマですが、AI の登場によって、これらの問いは新たな次元を迎えています。

AI が意識を持つ可能性、あるいは意識を持つ AI をどのように扱うべきかという問題は、倫理的な観点からも重要な論点となります。

AI は、大量のデータに基づいて学習し、最適な行動を選択します。このプロセスは、人間の意思決定プロセスと類似しているようにも見えますが、AI には自由意志があるのでしょうか？

人間の行動は、遺伝子、環境、経験など、さまざまな要因によって規定されていると考えられます。AI の行動もまた、アルゴリズムやデータによって規定されていると言えます。（裏面へ続く）



AI が発展し、人間の生活も大きく変わろうとする中で、人間の本質に立ち返るような問いや学びに戻るとい
うのはとても興味深く、面白いと感じています。

Under Planning



生成 AI と哲学セミナー
実施時期は未定ですが、哲学の専門家と AI の専門家によるセミナーを予定しております。実施時期や内容は未定ですが、楽しみにしてください。

では、人間の自由意志とは何なのか、AI と人間の自由意志の違いは何なのかという問いは、哲学的な探求の対象となります。

AI と哲学の出会いは、新たな知の地平を切り拓く可能性を秘めています。AI は、哲学的な問いを探求するための強力なツールとなるでしょう。

AI は、絵画、音楽、小説などの創作活動を行うことができます。これらの作品は、人間が作ったものと区別がつかないほど高度なものもあります。

また、AI の発展は、哲学的な概念を見直し、再定義する機会をもたらすかもしれません。AI と哲学の対話は、私たち自身、そして世界に対する理解を深めるための重要な一歩となるでしょう。

AI は、既存のデータからパターンを学習し、それを組み合わせることで新たなものを生成することができます。しかし、これは真の創造性と言えるのでしょうか？

私たち自身も、AI との対話を通じて、新しい知識や知恵を得たり、自分なりに思考する機会・時間を造れるようになると思います。

創造性とは何か、AI は真の創造性を持つのかという問いは、哲学的な議論を深めるきっかけとなります。

AI と哲学は、一見すると異なる分野のようですが、実際には深く結びついています。

AI が生成しているものは、あくまでもネット上にある情報をもとに生成しているものになります。

AI の発展は、哲学的な問いを提起し、哲学的な探求を促します。

人間の場合は、その人が持つ知識のほか、経験、そして外部の刺激など、多様な要素をもとに、新しいものを生成しているように思います。

AI と哲学の対話は、私たちが新たな知の地平を切り拓き、より良い未来を創造するための鍵となるでしょう。

しかも、その生成は AI のようにボタン一つで簡単に生成できないし、無意識の中で生成が続けられて、ある時ふと新しいものが生成される、いわゆるひらめきなのか、インスピレーションのようなものがあると思います。

この探求をして新たな知を手に入れるのか。はたまた AI が人間の知を超え、人間は人間らしい強みを手放していくのか。その岐路にたたされているように思います。

これはいまの AI ではできないことだと思えます。今後の進化でどこまで人間に近いもの、いや人間を超えるものが出てくるのか、楽しみでもあり、ある意味脅威でもあるように思えます。

今回のエッセイも、AI の力を借りて書いてみました。今後、弊社自身も、AI をどう人財育成に活用していくことができるのか。そのことをもっと AI の力も使い、考え続けてみたいと思います。



【コラム執筆】

人與人、人とコトの仲をつなぐ

仲津定宏

現時点でも、まだ AI を使っている人は組織においても少数に思います。ただゆでガエルのごとく、気づいた時に日本だけが取り残されないように、AI に関する国民的なりテラシーを高めておく必要はあるように思います。

研修受講報告

ものふ立志塾 最終回受講報告



先日、河口湖にある湖畔の研修会場にて、2 日間にわたるものふ立志塾の最終回の講座を受講し、最後は自分自身の人生を振り返り、自分の持つ志をみんなの前で発表させて頂きました。

日本の思想史や歴史など興味深いお話をはじめ、著名・無名関係なく、その分野で最前線の活躍をされている方のお話もお聞きすることができました。

この半年間で、たくさんのごことやそして、通常では行くことができないような場所について、色々な方のお話をお聞きしたり、また新しい出会いもございました。今後の自分の人生にもじわじわと生きてくると思います。